

手をつなぐ

題字 藤本利夫著

〈1988年7月9日創刊〉
 発行2015年12月1日 〈毎月1日発行〉
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 e-メール shiga.minken@gmail.com
 HP: http://shiga-minken.jimdo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

民主主義ってなんだ

東山 三郎 (県立高校教諭)

私は、この数ヶ月、安保法制反対運動、とりわけシールズの運動に励まされてきた。

京都タワー前や梅田ヨドバシカメラ前の街宣に参加し、京都や大阪で行われたシールズのデモにも参加した。8月30日の歴史的な国会前包囲行動にも。コールを主導したのはシールズのメンバーたちであった。今もシールズのTwitterには毎日のように目を通して居る。

現在の憲法が示す平和主義が破壊されていくことを黙ってみているわけにはいかない。何かしなければならぬという思いの中で、街宣に集い、デモに参加してきた。

また、この夏、運動は、憲法を権力に守らせる立憲主義の思想を明確にできた。そのことは「憲法を守ろう」ではなく「憲法守れ」というシールズのコールによく表れている。私たちは、一人ひとりが、人権と平和、個人の尊厳を保障するという国の在り方を示すものとして憲法を選び直し、その憲法を守らせることを権力に求めたのである。

坂本龍一は今回の運動を「フランス革

命に近いことが起こっている」と評し、鳥越俊太郎は、これは「日本史上初の市民革命である」と述べた。憲法を選び直す市民革命である。

しかし、立憲主義を明確に唱えた運動はシールズに限らない。ならば、私がシールズに励まされる理由はそれだけではないうだ。

シールズの運動には、様々な複数の声が響いている。一人ひとりが自分の日常の身体感覚から声(Voice)を上げている。それをTwitterで読むことは楽しく、スピーチで聞くことは元気をもらえる。街宣やデモで流される音楽も魅力であり、コール&レスポンスと、そのリズムも今までにないものだ。

非暴力性という特徴も重要だ。12万人が集まった国会包囲デモの混雑の中で、非暴力の雰囲気を感じ、人を強く押さないように配慮している自分にも気づいていた。

話は変わるが、学校現場に目を向けてみよう。学校の現状はどうなっているだろうか。それはますます暴力的になっているように思われる。威嚇や脅しを使い

子どもを人格としてみるのではなく操作の対象としか見ないという意味でだ。市民を育てることからはあまりにも遠い。一人ひとりを人格として認め、その声に耳を傾け、レスポンスし、生徒たちが意見を表明し、市民として社会に参加することをうながす場としての学校。きっとそんな学校の在り方を考えながら私はシールズの運動に関心を寄せてきたのだと思う。

(SEALSやSEALS KANSAIのHPのGALLERYやSNSのYouTubeでSEALSの街宣やデモのようすが見られます)
 (ひがしやまさぶろう)

《 今月の紙面 》

- ・民主主義ってなんだ／東山 三郎 …P1
- ・琵琶湖から、日本の環境問題を考える～地域民主教育全国交流集会 近江八幡集会 開会集会の報告／角田 純一郎 …P2
- ・現代中学生の生きづらさを考える～保健体育科で引き取るべき子ども達の生きづらさについての実践／澤 豊治 …P3, 4, 5
- ・動き始めた大学での発達障害等学生への支援／黒田 吉孝 …P6
- ・やらされ、しかたなしに・・・洪水のように流される教育現場／穂高 歩 …P7
- ・教育動向 9・10月／丹部 …P8